

きらめき

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 村上 良智
編集責任者: 齊藤 慎也

通建連合『労働安全衛生強化期間』 期間：2024年1月15日～2月29日

通建連合と各構成組織は、安全労働を運動の重要な柱と位置付け、安全衛生委員会等の場において各社の安全施策の展開状況について確認を実施するとともに、労働組合独自の労働安全衛生確立に向けた取り組みを展開してきました。

しかし、全国的に労働災害の連鎖は止まることなく、これまで発生した同種の事故も散見される状況にあることから、「現場の自律安全推進」に向けた活動の具現化が必要であるとの認識のもと、1月15日～2月29日の期間において、通建連合「労働安全衛生強化期間」を設定し、安全グッズ（ウェットティッシュ型除菌シート）を配布しながら安全労働に向けた注意喚起を行うとともに、通建連合による安全ヒアリングをもとに「気づき」を促進する観点からWebアンケートを実施することを決定してきました。

インフラ東北管内においても今年度下期以降に4件の事故が発生している現状を重く受け止め、「二度と私たちの職場からは人身事故を発生させない」ことを肝に命じ、安全意識の向上・啓蒙活動等の取り組み強化に向け、以下の内容で取り組みを展開することとします。



インフラ東北としての取組内容

期間：2024年2月1日～2月29日

- ①各職場の朝礼等において注意喚起の実施
⇒組合役員・分会長が参加し取り組み趣旨の説明および安全グッズ配布による啓蒙活動
- ②現場（労使合同）パトロールの実施
⇒労使合同による現場第一線の方々との対話を重視したパトロール
- ③通建連合「安全ヒアリング」をもとにしたWebアンケートの実施
⇒通建連合にて実際の工事で事故を経験した被災者の方へヒアリングを実施した内容を一読頂き、アンケートへの回答を募集（下記QRコードより）

安全ヒアリング・アンケートへの
アクセスはこちら👉👉👉



インフラ東北『安全衛生統一行動』 取り組み結果について



インフラ東北は、「安全労働はすべてに優先する」との基本認識のもと「安全で安心して働ける職場の確保」を目指し取り組みを実施しております。2023年11月30日～12月31日の期間においては、インフラ東北「安全衛生統一行動」として、各職場での安全グッズ（BOX ティッシュ）配布による注意喚起や労使合同による現場第一線の作業員の方々との対話を重視したパトロールを実施させて頂きました。パトロールの様子は以下の通りとなります。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

＜パトロール実施模様＞



＜対話内容（抜粋）＞

Q.各種安全施策についてどのように感じていますか（施策数や内容、改善してほしい点について）

- ・ 工程単価が見合っていればいくらかでも安全対策は実施するが、安全施策追加に対する現場稼働増をお金で見てくれない
- ・ 事故を起こさないため必要だと理解しているが、施策を増やすだけでなくポイントを絞ったものにしてほしい
- ・ NWカメラについて以前に比べ連絡が来るようになり、アングル不備や電源がついてない等がわかるようになった
- ・ NWカメラがある事で常に見られている為、安全への意識がより高まると感じる
- ・ 見守りカメラによる安全対策は大変良いが初回のミスは即再教育ではなく、その場で電話等の指導を行い指摘してほしい
- ・ 年々安全対策が増えているように思うが、作業従事者の安全の為には仕方がないのかと思う

Q.現場での課題や問題、困りごとはありますか

- ・ 元請側でも現場からの問い合わせ対応等ができる人を増やして欲しい
- ・ 若手の局内担当者育成が課題（使命）と感じている
- ・ 地下の接続班（メタル）が少ないため、稼働の確保や調整が大変である
- ・ パトロールだとは思いますが声もかけず下ですと見られているだけの時があり、何か不備があったのか、作業を中断し対応すればいいのかわからない時がある
- ・ 雪が多い時期に施工が集中している
- ・ 冬期間で手がかじかみ思うように動かなくなるので、防寒対策グッズがあれば嬉しい
- ・ お客様不在の場合の対応について、毎回事務所に確認しているが少なからず待ち時間が発生するため効率が悪い

今回のパトロールでは、現場第一線の方々が各種安全施策を遵守しながら安全作業に努めて頂いていることを確認しておりますが、その中でも現場の困りごと等の率直なご意見を伺うことができました。現場での対話において皆様から頂いた意見をもとに、各事業所での安全衛生委員会等の場で改善に向けた労使議論を行い、より良い職場環境の実現に向けて取り組みを行っていくこととします。まだまだ冬期間の厳しい作業環境が続きますが、決して慌てることなく、現場環境を踏まえた安全作業に努め、仲間そして家族のもとに笑顔で帰りましょう！

「安全衛生統一行動」へのご協力ありがとうございました！